

開催日時：2019年8月16日（金）09:45-15:30

会場：北海道札幌南高校

参加者：全4校、生徒30名

（北海道札幌南高校、北海道札幌西高校、北海道釧路湖陵高校、北海道旭川東高校）

協力：北海道札幌南高校

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

ジャッジ：PDA 講師、東京大学、一橋大学、秋田国際教養大学

1. 開会式

北海道から4校が集結し、北海道即興型英語ディベート交流大会2019が開幕しました。はじめに、札幌南高校の廣田校長先生より「人生は課題解決の連続です。課題解決に必要なのは知識の蓄積よりもそれをどのように活用するのか、自分はどう考えるかということです。今日はぜひその力を養ってください。」と激励の言葉をいただきました。

その後、ルールのおさらいやPOI（質疑応答）の練習を行いました。モデルディベートをスピーチのメモを取りながら聞き、実際のディベートのイメージをつかんだらいよいよ他校の人とチームを組んでディベートを行うミックスディベートの始まりです。



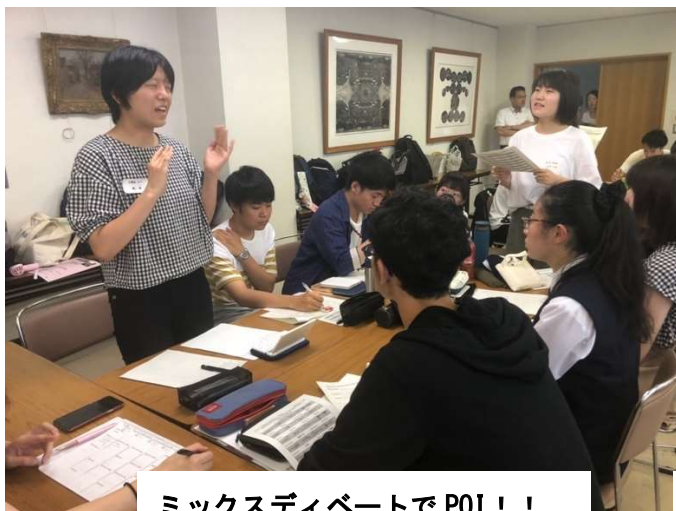
札幌南高校 廣田校長先生



ルールの確認

2. ミックスディベート「大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」

まずは今回チームを組む他校の生徒や相手チームの生徒チームと自己紹介を行いました。和やかに自己紹介を終えるとミックスディベートの始まりです。模試の結果が悪かったときに励まし合えるのではないかと、一緒に勉強するなどモチベーションにつながるのか彼氏/彼女はいた方がいいのではないかと、むしろ受験期間に別れたときに立ち直れず受験にも影響するのではないかと、など様々な議論が展開されました。中には高校受験のときのエピソードを具体例として話すなど、大変盛り上がったラウンドとなりました。



ミックスディベートでPOI！！
元氣よくPOI！！



ディベート後はお互いの健闘を称え握手をかわします
堂々とスピーチをしています

3. 第1ラウンド「NHKのスクランブル化を実現すべきである。」

ミックスディベートが終わるといよいよ表彰に関わるラウンドの始まりです。他校の生徒とチームを組み楽しくディベートをしていたときは打って変わって、ピリピリとした空気が流れている中、第1ラウンドが始まりました。選挙結果の影響もあり昨今よく耳にするNHKのスクランブル化というテーマに、自分の持っている知識をスピーチに盛り込む生徒も見られました。公共放送の存在意義や、その情報は他のデバイスで入手可能なのかどうかなど様々な観点から白熱したディベートを行いました。ディベート後に行われるジャッジの先生からのフィードバックを真剣に聞き、次に活かそうとメモを取る様子も見られました。



遠隔からジャッジを行い、生徒もコメントをしっかりメモしています

4. 昼食

ミックスディベートと第1ラウンドの合計2ラウンドを終え、少し頭が疲れたところで昼食時間です。チームメイトと一緒に、第1ラウンドの反省会を行ったり、英語学習について意見交換をしたりする様子が見られました。

5. 第2ラウンド「お店のレジ袋の有料化を義務づけるべきである。」

昼食をとってエネルギーをチャージしたら、いよいよ表彰対象のラウンドのうち最後の第2ラウンド目に突入です。準備時間では第1ラウンドでジャッジから受けたコメントを思い出ししながら、相手の意見を予測して反論をあらかじめ考えたり、相手への POI をあらかじめ考えたり、具体例を考えたりする生徒も多く見られました。ディベートが始まると、環境への影響や、消費者の行動の変化などについて白熱した議論を繰り広げました。



札幌南 A vs 札幌西 A



旭川東 B vs 札幌南 B

6. エキシビション「会社は週休3日制を導入すべきである。」

ジャッジをした講師がもう一度この人のスピーチを聞きたいと思った生徒が選出されるエキシビションディベート。エキシビションディベーターを発表するとそれぞれのチームから歓声が湧きました。準備時間中は、効果的なポイントのたて方、分析の仕方についてレクチャーが行われました。準備時間が終わるといよいよエキシビションディベートの始まりです。エキシビションディベートでは、生産性は上がるのか変わらないのか、何のために働くのか、ワークライフバランスはどうなるのかなどの観点から白熱した議論が行われました。また、POI も活発に行われるなど、それぞれの生徒がお互いの話をしっかり聞き、考え、レスポンスする様子が見られました。

今回のディベートは教員も一緒にジャッジの実践を行いました。ディベートが終わるとメインジャッジを務めたスタッフより勝敗が発表されました。



聴衆を見てスピーチ



活発に POI をします



POI の応酬が続きます

7. 表彰

すべてのディベートが終わり、それぞれ優秀なパフォーマンスを行った生徒たちが表彰されました。

チーム賞

- 1 位 札幌南 B チーム
(——、——、——、——)
- 2 位 札幌南 A チーム
(——、——、——、——)
- 3 位 旭川東 B チーム
(——、——、——、——)



1 位 札幌南 B チーム



2 位 札幌南 A チーム



3 位 旭川東 B チーム

ベストディベーター

- ・ ——さん (旭川東 A)
- ・ ——さん (旭川東 A)
- ・ ——さん (釧路湖陵 A)
- ・ ——さん (釧路湖陵 B)
- ・ ——さん (札幌南 B)
- ・ ——さん (札幌南 B)



ベストディベーター

POI 賞

- ・ ——さん (札幌西 A)
- ・ ——さん (札幌西 B)
- ・ ——さん (札幌南 B)
- ・ ——さん (札幌南 B)



POI 賞

エキシビションディベーター賞

- | | | |
|-----|------|-------|
| PM | ——さん | 旭川東高校 |
| LO | ——さん | 札幌南高校 |
| MG | ——さん | 札幌南高校 |
| MO | ——さん | 札幌南高校 |
| LOR | ——さん | 札幌西高校 |
| PMR | ——さん | 札幌西高校 |



エキシビションディベーター賞



集合写真

8. 参加者の声 （アンケートより抜粋）

○英語で様々な問題について話すのはとても難しかったが、貴重な経験となった。もっと英語を話して、自信を持って話せるようになって、また来年も出たいと思った。（札幌西高校）

○今までよりも俄然ディベートへのやる気が湧いてきた。まだまだ論理的思考力、反論の的確性などが欠けているので、これらを重点的に改善し、ディベート大会に向けて活動かつ日々を過ごしていこうと思う。（旭川東高校）

○自分の英語力の低さを改めて思い知らされました。単語が出てこない、聞きとれるけど日本語変換理解に時間がかかる、声が通らない、など様々な課題が見えました。今後も英語の勉強に励み、脳内で日本語に変換しなくても英語を理解できる、言いたいことを、単語を脳内で漁らず自然にアウトプットして言えるようにしたいです。非常に良い体験で、今後の英語の学習へのモチベーション、参考になりました。（札幌西高校）

○パラメンタリーディベートは事前準備を行うディベートと異なり、その場で考える本物の論理的思考力が試されると感じ、とても面白かったです。なかなかうまくできないことも多かったですが、それによってもっと上手になりたいという思いが生まれた良い機会でした。（旭川東高校）

○自分の視点と違う意見がたくさんあって楽しかった。（札幌南高校）

○自分が試合を通してどんどん成長していくことを実感できたのが楽しかったです。（札幌南高校）

○講師の方々が毎回アドバイスをくださり、反省点を見つけ、改善をしようと心がけることができたのでとてもためになり、自分のディベート力を向上させる良い経験になりました。（札幌南高校）

○時事的、環境などの実生活に関わるトピックをディベートして、相手とともに楽しく真剣に技術の習得ができたと思います。(札幌南高校)

○初めての参加で、成功も失敗も経験することができて、他校の生徒とも仲良く話すことができたからとても楽しかった。表現に行き詰まった時にどうするか。ということ、多視点から物事を見たことによって論理的思考力が刺激された。語彙を増やせばもっと面白くなるだろうと考えた。(旭川東高校)

○他校生と交流することは滅多にないので、貴重な機会でした。自分が言いたいことを英語にできなかったり、相手が言っていることがところどころ聞き取れなかったりして自分の力が足りていないと痛感したので今まで以上に英語の勉強を頑張ろうと思いました。また、ただ単語の勉強をしてもいざしゃべるとなったら出てこないとわかったので日ごろから話す機会を設けるべきだと感じました。(旭川東高校)

○時間が限られている中、意見をまとめて発表する過程が楽しかった。他校の生徒と話せて楽しかった。他校の人と交流できたのはとても楽しかった。グループディベートも初対面の中、意見を合わせられた準備時間が短いので原稿を書く作業が一番大変だった。反論が来たときの返しも難しかった。(旭川東高校)

○他校の方とコミュニケーションを取ることができて楽しかったです。(釧路湖陵高校)

○去年参加させていただいた時、自分の力の無さを痛感し、心が折れそうになりました。その経験があったので今年は来る前に今年初参加のメンバーとともに練習してきました！何が何だかわからなくてパニック...ってことはなかったものの、他校生との実力の差を実感したように思います。しかし、緊張や不安、焦りなんかもありましたけどだんだんディベートが成り立つようになり笑顔が出るような余裕も生まれ、自分たちの成長を感じることもディベートが楽しいと思えるポイントだと思います！！(釧路湖陵高校)

○英語の技術だけでなく他校の生徒の方々とコミュニケーションを取ることができる良い機会にもない、とても実り深い大会となりました。もしまた機会があればより多くの高校生の方々と英語でディベートしあってもっと自分自身の英語やディベートの力を伸ばして行きたいです。(釧路湖陵高校)

○自分たちでも準備のために最近数多くやっていたようですが他校と対戦できる機会があつて良かったです。ありがとうございました。(教員)

○悔しい思いやもどかしい思いを感じつつも生徒たちは一生懸命取り組んでいました。参加した生徒が一様に能力を高めることができる点がとても良いと思います。(教員)

○この講習会は2回目でしたが、今回は他校の生徒と交流させていただき学ぶことが多くありました。回を重ねるごとに生徒が上手くなっていったのが驚きでした。日々の活動に取り入れて行けばさらに生徒のレベルアップにつながると思います。(教員)